



2022.09

発行／公益財団法人徳島県国際交流協会

2022年度外国人による徳島県日本語弁論大会



7月24日（日）、あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）にて第33回目の「2022年度外国人による日本語弁論大会」を、徳島県及び（公財）徳島県国際交流協会の主催により開催しました。

30名の応募者の中から、書類審査を突破された7か国1地域13名の方が、異文化理解や、自国との日本の違い、日本での生活で感じた事などを、それぞれの思いを熱く発表してくれました。

本大会の報告は、すでに当協会のホームページに掲載しておりますと同時に、後日、動画配信をいたしますので、ぜひご覧ください。（配信日時が決まりましたら、TOPIAホームページにてお知らせいたします。）

今大会、最優秀賞に輝いたのは、鳴門教育大学留学生で台湾出身のり ンセンセイさん、徳島県議会国際交流議員連盟会長賞に輝いたのは、四国大学留学生でベトナム社会主義共和国出身のクアック ティ トウイ ズンさんです。

私の生き方 一人と人とのつながり

桜が咲く2014年の4月、私はドキドキワクワクしながら、飛行機で3時間の台湾からやってきました。そして、私の楽しい日本での生活が始まりました。

学校でみんなとおしゃべりしたり、放課後はカラオケに行ったり、おしゃれなカフェに行ったり…毎日、とても楽しかったです。と言いたいところですが、残念ながら、今お話したことは、本当のことではありません。学校でも、家でも、私は一人でした。想像していた日本での生活とは違っていました。周りの日本人の話についていくことができず、周りに溶け込むことができませんでした。日本人が3時間でできるレポート課題も、私は三日もかかりました。また名前が「センセイ」ということでみんなの前で笑われたこともありました。中国語で留学生と話していたら、知らない人に「国に帰れ」と言われたこともあります。私はとってもつらくて、家で、一人で涙を流しました。心がくじけて、国に帰りたいと何度も考えたことがありました。

しかし、そんな時、支えてくれた人がいました。それは、私が高校生の時にお世話になったホストファミリーと、私に毎日「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と言ってくれる大家さんです。ホストファミリーは、今でも、私のことを気にかけてくれて、会いに来てくれます。大家さんは、外国人である私がアパートを借りられず困っていた時、「うちは大丈夫だよ」と言ってくれました。そして、日本語がまだまだできない私に、市役所に連れて行ってくれたり、一緒においしい羊羹パンを買いに行ったり、大家さんのお孫さんとも一緒に動物園に行ったりもしました。そのようなたくさんの親切は、私にとって、どれほど嬉しかったことか。言葉で表現しきれません。それは間違いなく、私に元気をくれました。ホストファミリーや大家さん、日本台湾親善協会の方など、たくさんの人々に助けられました。その時、私は気がつきました。私は自分がどれだけ恵まれているのかに気づきました。そして、また頑張っ

り センセイ（台湾）



いけるようになりました。私は、さらに、日本語を勉強し、様々なイベントに参加して、地域の方々と交流しました。日本の伝統文化を勉強するために、茶道部にも入部しました。茶道にある「相手を思いやり、尊重し、もてなす心」を学びました。

そして、たくさんの人々と話すことによって、一つ気がついたことがあります。それは、自分の思考は変えることができるということです。「センセイ」という名前で笑われたこともありますが、今は人に覚えてもらいやすい名前だと思えるようになりました。今日、みなさんがおうちに帰っても、私の名前を忘れることはないでしょう。「センセイです」（笑）

そして、私は日本で自分の夢を見つけました。それは、臨床心理士になることです。これから日本に来る外国人は、留学生以外にも、どんどん増えるでしょう。その中で、言語や文化の壁で、誰かに相談することが難しく、ずっと一人で悩みを抱え込み、こころの病に罹る人もいます。そのため、日本で心理士になって、そのような人たちの力になりたいと考えています。今は大学院で、専門的なカウンセリングについて勉強しています。授業は決して簡単ではなく、大変ですが、辞めたいと思うことはありません。それは、離れた台湾からずっと支えてくれている家族がいるからです。また、先生方やクラスメートがいるからこそ私は今ここにいることができます。

私は日本でたくさんの人々に支えてもらったことを決して忘れません。これからも、このつながりや経験を大切にして、次は私が、臨床心理士となって、たくさんの人々の心の支えになれるよう頑張りたいと思っています。

徳島県外国人相談支援ネットワーク会議

当協会では、「徳島県外国人相談窓口」を設置し、地域の外国人が一住民として住みやすく活躍できる環境づくりや、様々な相談への対応を行っています。それを実現するため、国・県・市町村を含む61機関・団体で「外国人相談支援ネットワーク」を形成し、よりよい対応に向けて情報共有や連携を図っています。

去る7月12日、徳島市シビックセンター及びオンラインにて、今年度第1回目の会議を開催しました。会議では、県内在住外国人の動向や外国人相談窓口の運営状況についての報告、そしてネットワーク構成員の情報交換を行いました。

令和3年末の徳島県の在留外国人は、前年度と比較し8%減の6,094人となり、ここ約10年増加傾向にあったものが減少に転じました。今後、少子高齢化と労働力不足に伴い、一生活者・一労働者としての外国人が増加すると言われていているところ、彼らの受入れと地域での共生は急務となります。会議では、TOPIA多言語相談員から‘在住外国人がどのようなことに困っているか、周囲に相談出来る人がいない状況’について、またそのような状況を変えていくために‘先入観を持たず、やさしい日本語を使った関係づくりの大切さ’等について話題提供をしました。引き続き、このネットワークを生かし、徳島での多文化共生社会の形成に向けて取り組んで参ります。



徳島県在留外国人内訳

国籍・地域別	
ベトナム	1,811
中国	1,557
フィリピン	764
インドネシア	375
韓国・朝鮮	317
ミャンマー	162
米国	162
カンボジア	124
ネパール	101
タイ	62
インド	54
バングラデシュ	45
上記以外の国	560
総数	6,094

令和3年12月末 単位：人

出典：法務省在留外国人統計



あらかわ連

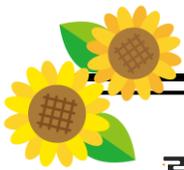
3年ぶりに徳島市の街中で阿波おどりが8月12日から15日まで開催され、多くの方が「踊る阿呆に見る阿呆」となり、阿波おどりを満喫しました。

天候に恵まれた8月14日、第42回目となる徳島県国際交流協会の「あらかわ連」も有名連の「のんき連」と「若獅子連」の協力のもと、「踊る阿呆」となり、熱気に包まれた市内を踊り歩きました。

「あらかわ連」は世界各国の人々と一緒に踊ることにより、国籍、人種、宗教などに関わらず、お互いに理解し合い、平和な世界をつくってほしいという願いを込めて、1981年に結成されました。

今回は18か国45人が参加し、7月から練習を重ねてきました。参加者は「世界はひとつ、あらかわ連。ヤットサー、ヤットサー」と大きなかけ声で阿波おどりを満喫し、相互理解を深めました。来年も皆さんのかけ声を楽しみにしています！





夏休み子ども日本語教室（サマースクール）



JTMとくしま日本語ネットワーク
吉田 尚子

7月21日～30日までの間に合計8回、徳島県国際交流協会からの受託事業として、恒例の夏休み子ども日本語教室を開催しました。

今年は、中国、フィリピン、キルギス、アメリカ、マレーシア、バングラデシュ（計6か国）にルーツを持つ小学生13名、中高生8名、計21名の申し込みがあり、総勢24名による支援者体制により、かなりの割合で一对一の個別指導を実施することができました。特に高学年になり学習言語が身についていない児童や、受験を控えた中高生にも手厚い支援ができました。

教室では、1時間の個別学習のあと、担当講師による全体学習を30分行いました。その内容は、「将来の夢、色紙を使った漢字切り紙、星にまつわる話と紙相撲、なぞなぞクイズ、ビンゴゲーム、切り絵や貼り絵、紙鉄砲・紙飛行機、雲の観察」などでみんなが楽しく活動していました。また、毎日3人が1分間スピーチをしてそれぞれの思いを発表しました。

また、7月23日には、県国際交流協会の主導で「進学ガイダンス」が初めて開催されました。1部は、保護者を対象に、県教育委員会の日本語支援担当者からの県教育委員会が作成したウェブサイト「徳島県外国にルーツを持つ子どもの受入手引」を投影しての説明やTOPIAスタッフからの「日本の学校のシステムや入試の現状」についての説明がありました。2部は、子ども達も参加し、1部の内容を子供向けにした説明を受け、その後、オンラインで二人の方の体験談を聞きました。一人目は小学校の時にフィリピンから来日しいきなり日本の学校に通っているいろいろな壁を感じながらも、自分で道を切り開いた大学生。二人目は、慣れない環境で4人の子育てに奮闘した韓国人のお母さん。お二人の話や参加者の顔は真剣そのものでした。

今回の「進学ガイダンス」は保護者にとって具体的な例を示していただいたことで今後の道しるべとなると思いました。また、子ども達にとっても、素晴らしい先輩に接したことで自分の将来の学生生活や、将来の仕事について考える機会となったと感じました。



防災出前講座

徳島県国際交流協会では、近年危惧されている南海トラフ巨大地震や、年々増えつつあるその他の自然災害から身を守るために、在住外国人の方を対象にした防災出前講座(言語:やさしい日本語・英語・中国語・ベトナム語)を開催し、防災意識の啓発をおこなっています。お申し込み・お問い合わせは当協会までお願いします。



防災出前講座の様子



ボランティアによるオンライン日本語支援 始動

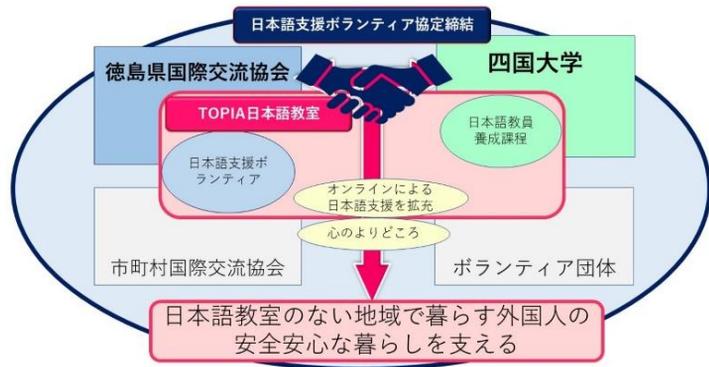
— 四国大学と日本語支援ボランティアに関する協定を締結しました —

徳島県国際交流協会では、かねてより課題であった、日本語教室に行くことができない県内在住外国人の方に、オンラインで日本語支援をする活動を始めました。

開始するにあたり四国大学日本語教員養成課程の学生さんの御協力をいただくこととし、5月25日、四国大学と連携協定を締結しました。さらに、当協会のボランティアにも声をかけ、現在7か国21組が日本語の支援/学習に取り組んでいます。

この事業は、今後ますます需要が増えてくると思われますので、引き続きボランティアの方を募集しております。周知等、御協力よろしくお願いたします。

在住外国人の方が、ここ徳島を心のよりどころとして「安全で安心」な暮らしができるよう、日本語の支援を今後も推進していきたいと思えます。



令和4年度 後期日本語教室

TOPIAでは、徳島県内にお住まいの外国人の方を対象に日本語教室を開催しています

開始日: 9月30日(金)～

※レベルにより曜日が異なりますので、詳細は当協会のホームページにてご確認ください。

時間: 10:30～12:00

場所: TOPIA会議室

受講料: 無料

使用テキスト: 「みんなの日本語Ⅰ」または、「みんなの日本語Ⅱ」(第2版)(2,750円/1冊 CD付き)

※台風・大雨・大雪の状況により、急にクラスが休講になることがあります。ご了承ください。

★阿南市国際交流協会(阿南市)、吉野川市国際交流協会(吉野川市)、阿波国際交流協会(阿波市)、美馬の里(美馬市)、美波多文化共生ネットワーク「ハーモニー」(美波町)、NPO法人あったかいよう(海陽町)、藍住町国際交流協会(藍住町)、多文化共生を考える会「ともに」(つるぎ町)でも日本語教室を開催しています。 ※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、スケジュールや託児サービスが変更されることがあります。



～県内国際交流団体活動紹介～

山川町の国際協力NGO「ティコ」



特定非営利活動法人TICO
事務局長 福士 庸二

特定非営利活動法人TICO（以下、TICO）は1993年、「徳島で国際協力を考える会」としての設立。「日本の一地方である徳島県で世界の中の日本を考え、それぞれが“地球市民”として自分にできる国際協力を実践すること」を活動の目的とし、日本国内、海外での国際協力を実践している。

TICOの代表でもある吉田 修が開設した「さくら診療所」は、過疎化と高齢化の進む地域の中でも最も信頼を集めている医療機関である。このさくら診療所は、国際協力活動を実践したいという保健医療の専門家を積極的に受け入れ、地域医療を実践しながら、ザンビアやカンボジアで保健医療分野を中心とした海外協力を20年以上実践してきた。ザンビアでの活動は、現地の人材を“コミュニティヘルスボランティア”として養成。彼らは地域でたった1つの診療所でザンビア人の看護師をサポートし、管理・運営するまでに成長し、地域住民がいつでも医療施設にアクセスできる環境づくりに貢献した。また、カンボジアでは医療従事者に対するファーストエイドの技術・知識の習得のための活動や地域保健ボランティアの育成、カンボジア保健省などとも協力したファーストエイドのガイドラインを作成。本ガイドラインは各研修のテキストとして使用されている。日本国内では地元徳島県吉野川市を拠点に、「地球人カレッジ」と称したセミナー・講演会を実施している。新型コロナの影響で集会ができない近年は、オンラインでの配信も始めた。

TICOやさくら診療所に集う人たちは、それぞれの国際協力の経験や思いを地域に還元しながら、途上国の抱える課題に立ち向かい、地球市民として生きたいとの思いから集まった有志である。こうした活動は、地域に根をはった活動と海外協力を結びつける試みとして注目され、市民による国際協力・交流のモデルとなるものである。



活動の様子



【日本国内の活動】

- 地元徳島では、機関紙の発行や“地球人カレッジ”と称した講演会・セミナーを実施。この地球人カレッジは、TICOの海外での国際協力活動の経験や成果を地元住民やTICO支援者に報告、地域や海外で活動している人々を招いたセミナーや講演会である。
- TICOのスタッフは、地域の小・中・高校での国際理解のための講師や、大学での授業で講師を務める他、吉田代表の自宅を開放し、大学生対象の国際協力合宿を実施したり、全国の医学生をTICOの活動先であるザンビアにおいて受け入れたりするなど、地域での国際協力・交流の核として存在している。

【海外活動】

- TICOの海外協力活動の特徴は、豊富な海外経験と専門の技術や経験をもつ保健医療スタッフによる自立支援。現在、ザンビアにおいては、現地の医師や看護師などの医療従事者に対して心臓血管外科手術の技術移転を行っている。
- 2002年のザンビア旱魃^{ひでり}後に始めたWAHE（水、農業、保健、教育の英語の頭文字）プロジェクトは、分野横断的の協力。得意の保健医療に加え、有機農業、小規模ローン、学校建設等の教育支援を組み合わせることで地域住民の自立を強力にバックアップし、人間の安全保障、持続可能な社会づくりを地で行く協力を実施している。

【緊急支援活動】

- 戦争や大規模災害における緊急支援活動では、阪神淡路大震災、東日本大震災やこの度のウクライナ避難民の支援など、他のNGOと連携し、TICOの持つネットワークを活用して保健医療スタッフの派遣や物資の提供を行っている。

JICA徳島デスクのページ

JICA（独立行政法人 国際協力機構）は、日本のODA（政府開発援助）の実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。「信頼で 世界をつなぐ(Leading the world with trust)」というビジョンを掲げ、多様な援助手法を組み合わせ、最適な解決策を提供することで、開発途上国が抱える課題解決を支援していきます。

2022年度 秋冬 徳島大学公開講座社会連携特別講座

外国につながる人たちの共生に向けて、 これからの徳島に求められること ～保育・学校・職場・地域での経験から考える～

本講座では県内の保育・学校・地域・職場などにおいて在留外国人支援に取り組む関係者や当事者の事例を紹介します。様々な外国につながる方たちとの共生に向けて徳島に求められることを、皆様と一緒に考えていきたいと思います。

開発途上国の経済発展と日本国内の地域活性化につながる事業を添加してきたJICAと、県内の異文化理解・多文化共生に取り組んできたTOPIA、そして徳島大学が連携して実施します。

===== プログラム ===== 会場:徳島大学/オンライン

1. **11月10日(木) 18:30～20:00**
「日本・徳島における外国人住民との共生社会に向けて」
2. **11月18日(金) 18:30～20:00**
「幼児～学童期の子育てと、生活・仕事を通じた経験から」
3. **11月24日(木) 18:30～20:00**
「外国につながる子供を取り巻く環境と日本語支援」
4. **12月1日(木) 18:30～20:00**
「いきなり日本の小学生になった話
～「Best of the both world」に込めた想い～」
5. **12月8日(木) 18:30～20:00**
「みんなちがうが面白い～異文化が混ざり合う保育～」
6. **12月15日(木) 18:30～20:00**
「地域における日本語の学びと心のよりどころ」

■**JICAの支援メニュー**：JICAでは、日本の地域で発展してきた技術や経験を開発途上国の発展にも活用し、国際協力を通じて地域の活性化や国際化にも貢献していきます。

◆JICA海外協力隊事業

開発途上国からの要請(ニーズ)に基づき、それに合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考・訓練を経て派遣します。帰国後もグローバル人材としての活躍が期待されています。

【募集期間】年2回(春・秋)を予定をしております。

募集に関する詳細は、JICA海外協力隊ホームページをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

◆草の根技術協力事業

技術協力を通じて途上国の方々の生活改善を支援しています。

【事業提案の応募は、以下の3コース】

- 草の根協力支援型(3年以内、1,000万円以内)
- 草の根パートナー型(3年以内、1億円以内)
- 地域活性化型(3年以内、6,000万円以内)

<https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/index.html>

◆研修員受入事業

開発途上国からの研修員が四国の知識、経験を学んでいます。大学・地方自治体・民間団体などの協力を得て、四国の特性を活かした四国ならではの研修を実施しています。

◆民間連携事業

四国の技術を世界へ！民間企業の技術やノウハウと途上国の開発課題のマッチングを通して、民間企業の海外進出を支援する中小企業・SDGsビジネス支援事業を実施しています。また、JICA海外協力隊活動を通して、社内のグローバル人材育成を支援するJICA海外協力隊(民間連携)プログラムを実施しています。それぞれのプログラムの詳細は、JICA民間連携事業HP(https://www.jica.go.jp/priv_partner/index.html)をご覧ください。

◆開発教育支援事業

地域や学校の皆さんと世界を学びます。

- ・教員向けJICA地球ひろば「先生のお役立ちサイト」学習指導案・写真・映像・パンフレットデータ・教材
- ・教師海外研修
- ・教員のJICA海外協力隊への現職参加
- ・協力隊経験者による出前講座
- ※詳細は、JICA四国HPをご覧ください。

JICA徳島デスクはしばらく不在にしております。ご連絡お問い合わせはJICA四国までお願いします。

独立行政法人 国際協力機構 四国センター(JICA 四国)

〒760-0028

香川県高松市鍛冶屋町3番地 香川三友ビル1F

TEL: 087-821-8825

FAX: 087-822-8870

Email: jicaskic@jica.go.jp



JICA四国

「とくしま外国人支援ボランティア会員」
募 集 中

徳島には約80か国、約6,000人の外国人の方が住んでおり、2019年4月からの「外国人材の受け入れ拡大」などにより、今後ますますその数は増えていくことが予想されます。彼らが、この徳島で国籍などに関係なく生き生きと生活することができるよう、ボランティアになって支援していただきながら一緒に国際理解や多文化共生を推進していきませんか？

詳しくはとくしま国際戦略センターホームページの「ボランティア募集」をご覧ください。

URL <https://volunteer.topia.ne.jp/recruit/page01.html>

TOPIA 賛助会員募集中

当協会では、当協会の趣旨と活動内容にご賛同いただける賛助会員を募集しています。賛助会員は協会の情報を優先して受けることができ、賛助団体は会議室の予約を3か月前から申し込むことができます。詳細は当協会まで。資料をお送り致します。

年会費	個人会員	一口	3,000円/年度
	団体会員	一口	10,000円/年度

国際理解教育を応援します

国際理解支援講師派遣

人とふれあい 人とつながり

多文化理解&多文化共生！

徳島県の国際化の進展に伴い、多文化共生に向けた県民の意識醸成や国際理解教育の推進を目的として当協会では学校や市町村の機関が行う国際交流活動などに講師（県内在住外国人等）を派遣します。リモート講義についても御相談ください。

国際理解支援講師募集中

～母国と日本の交流の架け橋となりませんか～

県内の学校や市町村の機関が行う国際交流のイベント等で、国際理解支援講師として日本語で母国の文化紹介などをしてくださる県内在住外国人の方を募集しています。



徳島県外国人総合相談窓口

徳島県で生活する外国人のみなさんが、暮らしやすい地域社会を目指し、外国人総合相談窓口を開設しています。当協会では英語、中国語、そしてベトナム語のほか、たくさんの言語で対応ができますので、仕事、医療、子育てなど生活でお困りのことがございましたら、当協会に来所いただくか、お電話いただければ対応させていただきます。

開所時間：10：00～18：00（年末年始を除く）

場 所：とくしま国際戦略センター

（公益財団法人徳島県国際交流協会）

多言語対応：

(1) 多言語(英語・中国語・ベトナム語)相談員の配置

(2) 電話通訳システムの導入

（通訳事業者、行政機関も交えて4者間で相談できる）

【対応言語】21言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤インドネシア語 ⑥タイ語 ⑦マレー語
- ⑧タガログ語 ⑨ネパール語 ⑩ミャンマー語
- ⑪クメール語 ⑫モンゴル語 ⑬ポルトガル語
- ⑭スペイン語 ⑮フランス語 ⑯ドイツ語
- ⑰イタリア語 ⑱ロシア語 ⑲シンハラ語
- ⑳ベンガル語 ㉑ヒンディー語

(3) 映像通訳システムの導入

（相談者・相談員と通訳者との対面相談に対応）

【対応言語】8言語

- ①英語 ②中国語 ③韓国語 ④ベトナム語
- ⑤タイ語 ⑥ポルトガル語 ⑦スペイン語
- ⑧ロシア語

(4) 対面式通訳機(ポケットク)の導入(74か国語)

(5) 多言語翻訳アプリ(ボイストラ)の導入

相談専用TEL：088-656-3312、088-656-3313

相 談 料：無料（ただし、電話代は自己負担となります）

問い合わせ：公益財団法人徳島県国際交流協会
〒770-0831

徳島市寺島本町西1-61

クレメントプラザ6F

開所時間：月曜日～日曜日 10：00～18：00

TEL: 088-656-3303 FAX: 088-652-0616

URL: <http://www.topia.ne.jp>